

(様式2) 平成 22 年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570106898		
法人名	医療法人 惇慧会		
事業所名	グループホーム・サラ		
所在地	秋田市新屋北浜町21-47		
自己評価作成日	平成23年1月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会		
所在地	秋田市旭北栄町1-5		
訪問調査日	平成23年1月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員と入居者との関わりで物作り一緒に作り作品の完成を目指しました。職員の指導により編み物・縫い物が好きな人にはコタツかけを8ヶ月かけての長丁場で感性させることができました。その他では庭いじりを得意としている人は花の苗を購入し水管理から葉の剪定までの管理を行い、畑では野菜作りを得意とする入居者様に教えていただきながら間引きや剪定を行っていただき大きな収穫をしました。このように職員と入居者様と一緒にできるものを模索しながら始めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

住宅街の一角にあり、隣接の母体老人保健施設が閉苑したことで、新たに地域の福祉拠点としての役割・機能を担っており、地域に密着した事業所として成長する良い機会となっている。事業所内に美術短大生の作品展示の場を提供し、ギャラリーのような感性に訴えかける空間づくりにこだわり、ユニットをつなぐ渡り廊下を利用者が自由に行き来して交流している。また、母体が医療法人のため、系列病院による在宅支援診療や訪問看護など医療体制が充実しているほか、独自の意向調査を実施したり、職員一人ひとりが年度の自己目標を掲げ、半年毎に評価しながら新たな課題につなげるなど、サービスや職員の資質向上に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
		1ユニット(サラ)		2ユニット(エン)	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		
		1ユニット(サラ)		2ユニット(エン)		
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	○	1. ほぼ全ての利用者が	
			2. 利用者の2/3くらいが		2. 利用者の2/3くらいが	
			3. 利用者の1/3くらいが		3. 利用者の1/3くらいが	
			4. ほとんどいない		4. ほとんどいない	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が	○	1. ほぼ全ての利用者が	
			2. 利用者の2/3くらいが		2. 利用者の2/3くらいが	
			3. 利用者の1/3くらいが		3. 利用者の1/3くらいが	
			4. ほとんどいない		4. ほとんどいない	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と	○	1. ほぼ全ての家族と	
			2. 家族の2/3くらいと		2. 家族の2/3くらいと	
			3. 家族の1/3くらいと		3. 家族の1/3くらいと	
			4. ほとんどできていない		4. ほとんどできていない	
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように		1. ほぼ毎日のように	
			2. 数日に1回程度		2. 数日に1回程度	
		○	3. たまに	○	3. たまに	
			4. ほとんどない		4. ほとんどない	
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている	○	1. 大いに増えている	
			2. 少しずつ増えている		2. 少しずつ増えている	
			3. あまり増えていない		3. あまり増えていない	
			4. 全くいない		4. 全くいない	
66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が	○	1. ほぼ全ての職員が	
			2. 職員の2/3くらいが		2. 職員の2/3くらいが	
			3. 職員の1/3くらいが		3. 職員の1/3くらいが	
			4. ほとんどいない		4. ほとんどいない	
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が	○	1. ほぼ全ての利用者が	
			2. 利用者の2/3くらいが		2. 利用者の2/3くらいが	
			3. 利用者の1/3くらいが		3. 利用者の1/3くらいが	
			4. ほとんどいない		4. ほとんどいない	
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が	○	1. ほぼ全ての家族等が	
			2. 家族等の2/3くらいが		2. 家族等の2/3くらいが	
			3. 家族等の1/3くらいが		3. 家族等の1/3くらいが	
			4. ほとんどできていない		4. ほとんどできていない	

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	“質の高い福祉サービスの提供と心のかよい合う施設づくり”の理念に基づいた5つの基本方針に従い職員の自己目標を設定し半年ごとに自己評価を実施し支援しています。 “質の高い福祉サービスの提供と心のかよい合う施設づくり”の理念に基づいた5つの基本方針に従い職員の自己目標を設定し半年ごとに自己評価を実施し支援しています。	「質の高い福祉サービスの提供と心のかよい合う施設づくり」の理念に基づき、利用者の尊重や地域福祉の発展、心が癒される環境づくりなど5つの基本方針を掲げている。 また、毎日の申し送り時に職員が交代で唱和しているほか、全職員が基本方針に対する自己目標を掲げ、半年毎に評価しながらケアにつなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会総会、夏祭り、小正月行事、に参加。又勝平小学校、勝平中学校の生徒さんの職場体験学習で、交流を持ち町内婦人会様より施設内行事バイキング作りのお手伝いを頂き、入居者様とご家族様との交流がありました。 町内会総会、夏祭り、小正月行事、に参加。又勝平小学校、勝平中学校の生徒さんの職場体験学習で、交流を持ち町内婦人会様より施設内行事バイキング作りのお手伝いを頂き、入居者様とご家族様との交流がありました。	町内会に加入し、地域の夏祭りに利用者と共に参加しているほか、秋田漫談など事業所行事の際には地域にも案内しており、地区の老人会や婦人会、ボランティアの協力を得ながらバイキングも実施している。 また、小中学校の職場体験学習を受け入れ、参加した近所の児童が放課後に遊びに来るなど、新たな交流が生まれている。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	地域婦人会様より行事のお手伝いをお願いし、笹巻き作りやギャラリートークを開催し一緒に物づくりを行い、グループホームを知って頂く機会を作っています。 地域婦人会様より行事のお手伝いをお願いし、笹巻き作りやギャラリートークを開催し一緒に物づくりを行い、グループホームを知って頂く機会を作っています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年の始めのグループホーム火災が報道され当GHの防犯状況と避難経路の説明後、防災訓練の協力体制の確保のお願いと後日防災訓練・消火訓練を行いました。 年の始めのグループホーム火災が報道され当GHの防犯状況と避難経路の説明後、防災訓練の協力体制の確保のお願いと後日防災訓練・消火訓練を行いました。	2～3か月毎に開催し、ヒヤリハット・事故報告や日々の活動状況の報告しており、防火体制について検討する際には消防署の参加を得て助言を求めている。 また、利用者が一人で外出した場合の対応について、地域の方が利用者を認識できる仕組みを検討するなど、会議での意見を具体的な取り組みにつなげるよう効果的に開催している。	前回調査でも課題としているが、2か月毎の定期的な開催をめざし、事業所独自の家族アンケート調査の報告やケアの実状について意見交換するなど、議題の提供を工夫しながら定期的な開催に努めてほしい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	サービス内容の相談や、運営面の助言・指導を積極的に仰いでいます。 サービス内容の相談や、運営面の助言・指導を積極的に仰いでいます。	生活保護受給者への支援や成年後見制度の活用、スプリンクラー設置に伴う助成など、必要に応じて行政と連携しており、ユニット毎のシフト編成についても指示を仰いでいる。 また、若年性認知症などの自立支援に関して、保健所と相談し、連携しながら支援している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が身体拘束をしないケアを正しく理解し、ケアに取り組んでいます。 全ての職員が身体拘束をしないケアを正しく理解し、ケアに取り組んでいます。	日中は玄関に施錠せず、職員が見守り、付き添いながら支援しており、近隣住民にも理解と協力を求めている。 また、利用開始間もない帰宅願望の強い方には、介護計画を見直し、家族の面会を増やすなど工夫しながら拘束をしないケアに取り組んでいる。	

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は、虐待や言葉の暴力を理解し防止に努めています。		
			職員は、虐待や言葉の暴力を理解し防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度の利用があり、指導・助言を頂いています。		
			成年後見制度の利用があり、指導・助言を頂いています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	不安や疑問点には解りやすく説明を繰り返し、十分な理解が得られるよう配慮しながら対応をしています。		
			不安や疑問点には解りやすく説明を繰り返し、十分な理解が得られるよう配慮しながら対応をしています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ユニット毎に玄関先に苦情受け付けポストを設置したり、年一回の家族アンケート調査を実施し、相談や、不満・苦情に理解と協力を得て迅速かつ早期対応に努めています。 ユニット毎に玄関先に苦情受け付けポストを設置したり、年一回の家族アンケート調査を実施し、相談や、不満・苦情に理解と協力を得て迅速かつ早期対応に努めています。	事業所独自で年1回の家族アンケート調査を実施し、外出の機会を多くしてほしいとの要望に応じて、ドライブの回数を増やすなど年間行事計画に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送りや、連絡帳の活用・月一回のミーティング開催により情報を共有し、運営やサービスの提供に努めています。 毎日の申し送りや、連絡帳の活用・月一回のミーティング開催により情報を共有し、運営やサービスの提供に努めています。	毎日の申し送りや、職員が自由に連絡事項を記入できる「連絡帳」や「気配りノート」を活用し、課題があれば毎月のミーティングや職員会議で検討している。 また、利用者と共に完成品を作りたいとの要望から、毛糸で編んだ「コタツがけ」を作り、実際に使用している。	2ユニットに対して夜勤が一人体制で、職員のストレスや離職の要因にもなっているため、利用者の安全管理面にも考慮し、勤務体制の見直しを検討してほしい。 また、職員の自己目標を設定しているため、経験や職種なども考慮しながら、新任研修や資格取得などの計画的な人材育成にも努めてほしい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年度初めに自己目標を設定、中間に自己評価を行い向上に努めています。又、個人面談等を実施し職員の訴えに傾聴し適切なアドバイスをしています。 年度初めに自己目標を設定、中間に自己評価を行い向上に努めています。又、個人面談等を実施し職員の訴えに傾聴し適切なアドバイスをしています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	With Youグループ内での新人研修、外部の研修には積極的に参加を支援し、個々の研修希望には調整を図る等人材を育成する環境が整っています。		
			With Youグループ内での新人研修、外部の研修には積極的に参加を支援し、個々の研修希望には調整を図る等人材を育成する環境が整っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム連絡協議会に入会しており、今後も秋田県グループホーム連絡会主催の講習会等に積極的に参加していきます。		
			全国グループホーム連絡協議会に入会しており、今後も秋田県グループホーム連絡会主催の講習会等に積極的に参加していきます。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前訪問や見学に来所された際に面談を行い、現在困っている事や今後の希望を伺っています。		
			事前訪問や見学に来所された際に面談を行い、現在困っている事や今後の希望を伺っています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学や申し込みの際に面談を行い、現在の生活状況や困っている事、望んでいることを伺っています。		
			見学や申し込みの際に面談を行い、現在の生活状況や困っている事、望んでいることを伺っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	事実とは異なることであっても、ご本人にとっては事実と捕らえ、ありのままを受け止め、同じ立場に立って対応するようにしています。		
			事実とは異なることであっても、ご本人にとっては事実と捕らえ、ありのままを受け止め、同じ立場に立って対応するようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人→家族→職員間で常に情報交換して、共有しています。		
			事実とは異なることであっても、ご本人にとっては事実と捕らえ、ありのままを受け止め、同じ立場に立って対応するようにしています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームは常に開放しており、気軽に面会できるように努めています。本人、家族の希望によりいつでも外出ができる状態です。(買い物・美容院・お墓参り・外食等)	タクシーで行きつけの美容院を利用したり、家族の協力を得て墓参りに出かけるなど、これまでの習慣やつながりを大切にしている。 また、友人が土産を持参して気軽に面会に訪れるなど、馴染みの関係継続を支援している。	
			ホームは常に開放しており、気軽に面会できるように努めています。本人、家族の希望によりいつでも外出ができる状態です。(買い物・美容院・お墓参り・外食等)		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人に声かけし、ホールに集まり大小グループ分け等により、ゲーム等を通じて関わりあえるように努めています。		
			一人一人に声かけし、ホールに集まり大小グループ分け等により、ゲーム等を通じて関わりあえるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後は関連施設への入居が多いため、常に情報交換できる状態にあります。		
			サービス終了後は関連施設への入居が多いため、常に情報交換できる状態にあります。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや暮らし方の希望に傾聴し検討しています。又状況によりご家族を交えての検討も行っています。	常に利用者の言動に気を配り、気になることがあれば声をかけ、コミュニケーションをとりながら意向や状態把握に努めており、申し送りなどで共有している。	
			一人一人の思いや暮らし方の希望に傾聴し検討しています。又状況によりご家族を交えての検討も行っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員全員が記録に目を通し一人一人の把握に努めています。職員間での情報交換も同様に行っています。		
			職員全員が記録に目を通し一人一人の把握に努めています。職員間での情報交換も同様に行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	細かいこと等常に記録し職員全員が把握できるようにしています。		
			細かいこと等常に記録し職員全員が把握できるようにしています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なカンファレンスにおいて実施しています。	初回に管理者及び計画作成担当者が訪問面談し、要望や希望を踏まえて毎月のカンファレンスで介護計画を作成しており、居室担当者がモニタリングを行い見直しにつなげている。 また、前回調査で課題としていたミーティング時の記録については、「連絡帳」や「気配りノート」などに申し送りの記録をとり、計画に反映させている。	
			定期的なカンファレンスにおいて実施しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に日々の記録を記入しています。浮上する課題についてカンファレンスを行い介護計画に反映させています。		
			生活記録に日々の記録を記入しています。浮上する課題についてカンファレンスを行い介護計画に反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方の運営推進会議への参加依頼、美術工芸短大の学生との交流、消防署との避難訓練、協力医療機関からの往診などの協力を得ています。		
			地域の方の運営推進会議への参加依頼、美術工芸短大の学生との交流、消防署との避難訓練、協力医療機関からの往診などの協力を得ています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医が定期的に往診してくれています。	母体医療法人の病院をかかりつけ医とし、年1回の健康診断や在宅支援診療による定期的な往診、週1回の訪問看護など、家族の同意を得ながら系列医療機関と連携し、緊急時にも対応できる体制を整えている。 また、家族に代わって通院受診する際は、生活状況を記録している受診用ファイルを活用して情報共有しているほか、近隣薬局の薬剤師からも服薬指導を受けている。	
			かかりつけ医が定期的に往診してくれています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	在宅支援診療所、訪問看護と常に連絡を取り、健康管理を行っています。		
			在宅支援診療所、訪問看護と常に連絡を取り、健康管理を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には、病院やご家族との連絡を密に行い状態把握に努め、退院後の方向性を検討しています。		
			入院の際には、病院やご家族との連絡を密に行い状態把握に努め、退院後の方向性を検討しています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	在宅支援診療所、訪問看護との連携で現在取り組んでいます。	事業所での看取りを希望する方がいるため、看取りの指針を作成し、在宅看護の講習受講も予定しているほか、医療ケアが必要な場合は訪問看護で対応するなど、医療、訪問看護と連携しながら体制づくりを進めている。	看取り希望の利用者がおり、職員は夜勤時の支援に不安を抱いているため、今後の重度化、終末期への対応を想定し、職員の勤務体制を見直すとともに、ケースを通しての学習と検討を重ねてほしい。
			在宅支援診療所、訪問看護との連携で現在取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時に備え全ての職員が定期的に救命講習を受けています。		
			急変や事故発生時に備え全ての職員が定期的に救命講習を受けています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施しています。	消防計画に基づき防災委員会を設置し、地域住民の参加や町内防火隊の協力を得ながら夜間を想定した避難訓練を実施しており、事業所外での避難誘導を近隣の方に依頼している。 また、訓練手順に近隣住民による避難誘導や避難経路を明確にし、避難経路の除雪も行い対策に努めている。	
			定期的に避難訓練を実施しています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個性ある一人の人として尊重しプライバシーには充分気を遣い対応しています。	トイレでの排泄介助が必要な場合は利用者が鈴で知らせたり、居室で昼食をとる方など、一人ひとりを尊重した対応に努めているほか、新聞の読み聞かせにより社会の情報も伝えている。 また、個人記録類は事務室で管理しているほか、個人情報に関しては広報誌やテレビ、新聞掲載なども想定し、書面で家族の同意を得ている。	以前に外部評価結果を受けて、トイレの一部をカーテンからドアに替えているが、男女兼用のため、よりプライバシーに配慮し、使用中の表示やトイレの配置など工夫してほしい。
			個性ある一人の人として尊重しプライバシーには充分気を遣い対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でしっかりと向き合い、会話等の中から利用者の考えていることを見だしています。		
			日常生活の中でしっかりと向き合い、会話等の中から利用者の考えていることを見だしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	何事も強制はせず、・・・しませんか？と声掛けから始めています。		
			何事も強制はせず、・・・しませんか？と声掛けから始めています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	理容、美容の出張があり、その中でご本人の意見を尊重し選択しています。 理容、美容の出張があり、その中でご本人の意見を尊重し選択しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の旬の物を提供したり、好みの物を取り入れたり、味見をしたり、職員と一緒に家事をしています。 季節の旬の物を提供したり、好みの物を取り入れたり、味見をしたり、職員と一緒に家事をしています。	2ユニットで同じ献立を作成し、旬の食材や利用者の嗜好も取り入れ、状態に合わせて調理方法や食事量を工夫しており、職員と共に利用者が食事の準備や後片付けを手伝っている。 また、食事中は和やかに会話しながら、利用者のペースに合わせて支援しており、寿司の出前や屋台ラーメン、外出時の外食などで食事を楽しめるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量低下の場合は補助食品等で補っています。週1回の体重測定で栄養摂取の確認を行っています。 食事量低下の場合は補助食品等で補っています。週1回の体重測定で栄養摂取の確認を行っています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医の指導のもと昼食後に歯磨きと舌苔の除去を行っています。 歯科医の指導のもと昼食後に歯磨きと舌苔の除去を行っています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、さりげない声掛けや誘導で負担がなく排泄できるようにしています。 個々の排泄パターンを把握し、さりげない声掛けや誘導で負担がなく排泄できるようにしています。	チェック表により利用者の排泄パターンを把握しており、時間をみでの誘導や、利用者の表情や仕草からも判断し、声かけしながらトイレでの排泄を支援している。 また、オムツを使用せず、尿とりパットや夜間はポータブルトイレの使用などで排泄の自立を促している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給の強化や体操を行って身体を動かしていただくようにしています。 水分補給の強化や体操を行って身体を動かしていただくようにしています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人ひとりの希望や健康状態に留意し、毎日の入浴、仲の良い利用者様同士一緒に入浴したり、夜間浴等楽しんで頂いています。	夜間も含めて毎日でも入浴が可能で、1日に2回入る方や仲の良い利用者同士で入る方など、いつでも入浴できるよう柔軟に支援している。 また、入浴を拒む方には足浴を勧めたり、診察があるなどの声かけや手紙にして促すなど工夫している。	
			一人ひとりの希望や健康状態に留意し、毎日の入浴、仲の良い利用者様同士一緒に入浴したり、夜間浴等楽しんで頂いています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣を継続する為に居室内でテレビを見たり、職員と話をしたり安心して眠れるよう支援をしています。		
			生活習慣を継続する為に居室内でテレビを見たり、職員と話をしたり安心して眠れるよう支援をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については飲み忘れや飲み間違いがないようにダブルチェックを行っています。		
			服薬については飲み忘れや飲み間違いがないようにダブルチェックを行っています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の下準備や、洗濯物たたみ、ほころび縫いやボタン付け等々互いに補い合いながら役割分担をしています。		
			食事の下準備や、洗濯物たたみ、ほころび縫いやボタン付け等々互いに補い合いながら役割分担をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	生活リハビリの手段として散歩や気分転換を図る工夫をしています。	事業所周辺の散歩や買い物ツアー、ドライブなど、できる限り外出の機会を多くするよう努めている。 また、地域の夏祭りや母体病院での餅つきなどにも出かけ、法人の車輛を活用するなど連携しながら支援している。	
			生活リハビリの手段として散歩や気分転換を図る工夫をしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	移動売店や買い物ツアーにおいては自己決定を支援し、見守りをしています。		
			移動売店や買い物ツアーにおいては自己決定を支援し、見守りをしています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたり、手紙を出したりしています。		
			電話をかけたり、手紙を出したりしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は利用者様と一緒に掃除をしたり、いつでもお茶が飲めるようにしています。	ユニット毎にイメージが異なり、家具や設備の形状にもこだわり、暖炉や間接照明、事業所内の随所に美術短大生の作品を飾るなど、モダンな空間により迫り着いた環境づくりに努めている。 また、ホールや食堂が広く、畳のスペースも小あがり掘りごたつ、ソファがあり、利用者が好きな場所で過ごしている。	
			共有空間は利用者様と一緒に掃除をしたり、いつでもお茶が飲めるようにしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	互いの居室を訪問したり、一緒の入浴を楽しんだりホールでお茶を飲みながら談笑をしています。		
			互いの居室を訪問したり、一緒の入浴を楽しんだりホールでお茶を飲みながら談笑をしています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみの物や写真、愛用品等の持込をしていただいています。	ベットやエアコン、暖房を備え付け、使い慣れたタンスや収納ケースを持ち込み、家族の写真なども飾っているほか、畳の部屋もあり個性ある生活空間づくりを支援している。	
			なじみの物や写真、愛用品等の持込をしていただいています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活動線を確保し、目印をつけ安全な環境で過ごせるよう工夫・配慮をしています。		
			生活動線を確保し、目印をつけ安全な環境で過ごせるよう工夫・配慮をしています。		